

「令和5年度 第1回 人と動物との共生推進よこはま協議会」会議録

日 時	令和5年6月9日（金）午後2時00分から午後3時00分まで	
開催場所	横浜市役所 9階共用会議室	
出席者	溝呂木啓之、伊東綾子、大久保芳樹、田中数馬、加藤精二、山田佐代子、赤澤暁昌、久世明香、佐藤雪太、田代さとみ、富高恵子（順不同）	
欠席者	なし	
開催形態	公開（傍聴者0名）	
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第7期人と動物との共生推進よこはま協議会の会長、副会長の選任について</li> <li>2 横浜市動物適正飼育推進員の任期満了に伴う選考について</li> <li>3 横浜市動物適正飼育推進員の研修計画について</li> <li>4 横浜市動物適正飼育推進員について</li> </ol>	
決定事項	<p>議題1 会長を溝呂木委員、副会長を佐藤委員に決定する。</p> <p>議題2 横浜市動物適正飼育推進員の次期委嘱について案に沿って実施すること。</p> <p>議題3 横浜市動物適正飼育推進員の令和5年度の研修を案に沿って実施すること。</p> <p>議題4 横浜市動物適正飼育推進員再任等（解嘱）の手順を策定すること。</p>	
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 人と動物との共生推進よこはま協議会委員名簿（資料1-1）</li> <li>3 人と動物との共生推進よこはま協議会委員名簿（記入用）（資料1-2）</li> <li>4 人と動物との共生推進よこはま協議会について（資料1-3）</li> <li>5 人と動物との共生推進よこはま協議会運営要綱（資料1-4）</li> <li>6 横浜市動物適正飼育推進員の任期満了に伴う選考について（資料2-1）</li> <li>7 横浜市動物適正飼育推進員設置要綱（資料2-2）</li> <li>8 横浜市動物適正飼育推進員令和4年度活動事例抜粋（資料2-3）</li> <li>9 令和5年度横浜市動物適正飼育推進員の研修計画（案）について（資料3）</li> <li>10 横浜市動物適正飼育推進員再任等（解嘱）の手順（案）（資料4）</li> <li>11 令和4年度横浜市動物愛護管理業務実施結果（資料5）</li> <li>12 令和5年度横浜市動物愛護管理業務計画（資料6）</li> </ol>	
議 事	議題1	第7期人と動物との共生推進よこはま協議会の会長、副会長の選任について
	事務局	資料1-3に沿って説明。 資料1-4に沿って説明。  会長に溝呂木委員、副会長に佐藤委員を選任。
	議題2	横浜市動物適正飼育推進員の任期満了に伴う選考について
	事務局	資料2-1に沿って説明。 資料2-2に沿って説明。 資料2-3に沿って説明。 (質疑・意見)
	山田委員	活動事例の猫に関する啓発の件数より、関係した推進員数が少ないのはなぜか。
	事務局	同じ推進員に複数回活動していただいた案件があるため。

伊東委員	団体推薦の現推進員について、本人に意向確認する前に推薦団体に確認してほしい。
事務局	以前、本人に意向がないのに団体から推薦を受けた事例があり、団体推薦の前に本人意向を確認すべきとの意見があった。これを踏まえ今回も、まずは本市から本人に意向を確認したい。
山田委員	団体として推薦の意向がない場合はどうするのか。
事務局	推進員本人の意向をふまえ、団体に推薦依頼を送付する。団体として推薦意向がない場合はその旨をお知らせいただきたい。
溝呂木会長	団体推薦の現推進員は、事前に横浜市から本人に意向を把握し、今後不都合があれば対応を検討する。
議題2について承認	
議題3 横浜市動物適正飼育推進員の研修計画について	
事務局	資料3に沿って説明。 (質疑・意見)
山田委員	第2回研修会の予定講師について、過去の実績等を把握しているのか。
事務局	獣医師も所属する団体であり、地域ケアプラザや自治体向け講演等の実績がある。飼い主のいない猫や人へのアプローチなど、様々なテーマに精通している。
議題3について承認	
議題4 横浜市動物適正飼育推進員について	
事務局	資料4に沿って説明。 (質疑・意見)
山田委員	当該手順について、横浜市動物適正飼育推進員設置要綱には明記するのか。
事務局	マニュアルのため、要綱に記載しない。
山田委員	疑義が生じた場合、事務局が協議し、部会を設置することでよいか。
事務局	事務局は疑義等に係る意見等の受け付けを行う。事象により会長が委員を選任し、部会を設置して意見を伺う。
議題4について承認	
事務局からの報告	
報告1	令和4年度横浜市動物愛護管理業務実施結果について
報告2	令和5年度横浜市動物愛護管理業務計画について
事務局	資料5及び資料6に沿って説明。 (質疑・意見)
伊東委員	動物取扱業に関して、ブリーダーの廃業届があった際、廃業時の動物の飼育状況を確認してほしい。廃業後のブリーダーの多頭飼育崩壊事例があった。
事務局	廃業後の飼育状況も確認し適切に対応したい。
大久保委員	猫の不妊去勢手術推進事業に関して、実績頭数が減少している要因は何か。
事務局	猫の路上死体や収容頭数自体も減少していて、飼い主のいない猫の総数が減少していると推測される。
山田委員	苦情件数は、猫は減少しているが犬は増加傾向にある。要因として、虐待に対

<p>事務局 山田委員 事務局</p>	<p>する関心の高まり、コロナ禍で在宅時間が増えて探知する機会が増えたことが考えられる。 苦情件数の増加分には、同一人物からの複数回の届出も含まれる。 不妊去勢手術推進事業について、実施頭数が減少しているため飼い主のいる猫も対象に含めてほしい。多頭飼育等で団体の負担が増えている。 御意見として承る。まずは適正飼育の啓発が重要と考える。バランスや公平性を鑑みる必要がある。</p>
<p>閉会</p>	